

第2回竹田ブロック教頭研修会

新しい学習指導要領を生かした
学校づくり・授業づくりを
どう進めるかについて

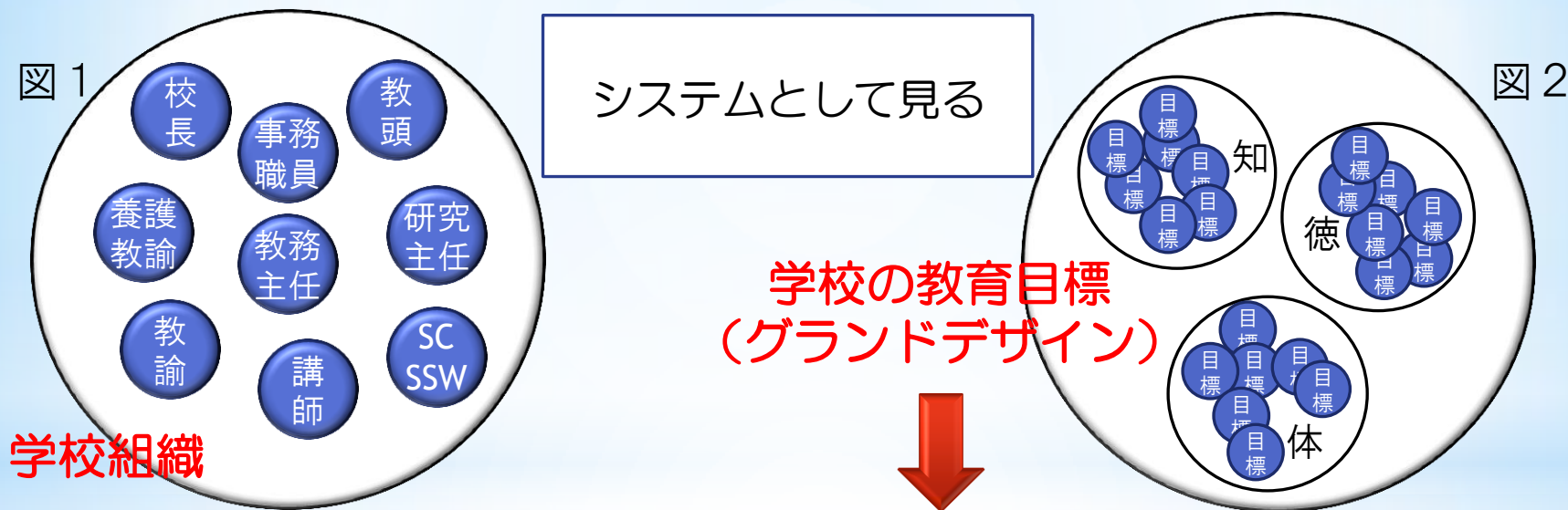
平成29年8月17日（木）
竹田教育事務所

【今日の話】

「マネジメント」をいかした
学校づくり

「主体的・対話的で深い学び」の
授業づくり

観点Ⅰ なぜ目標を「重点化・焦点化」するのでしょうか

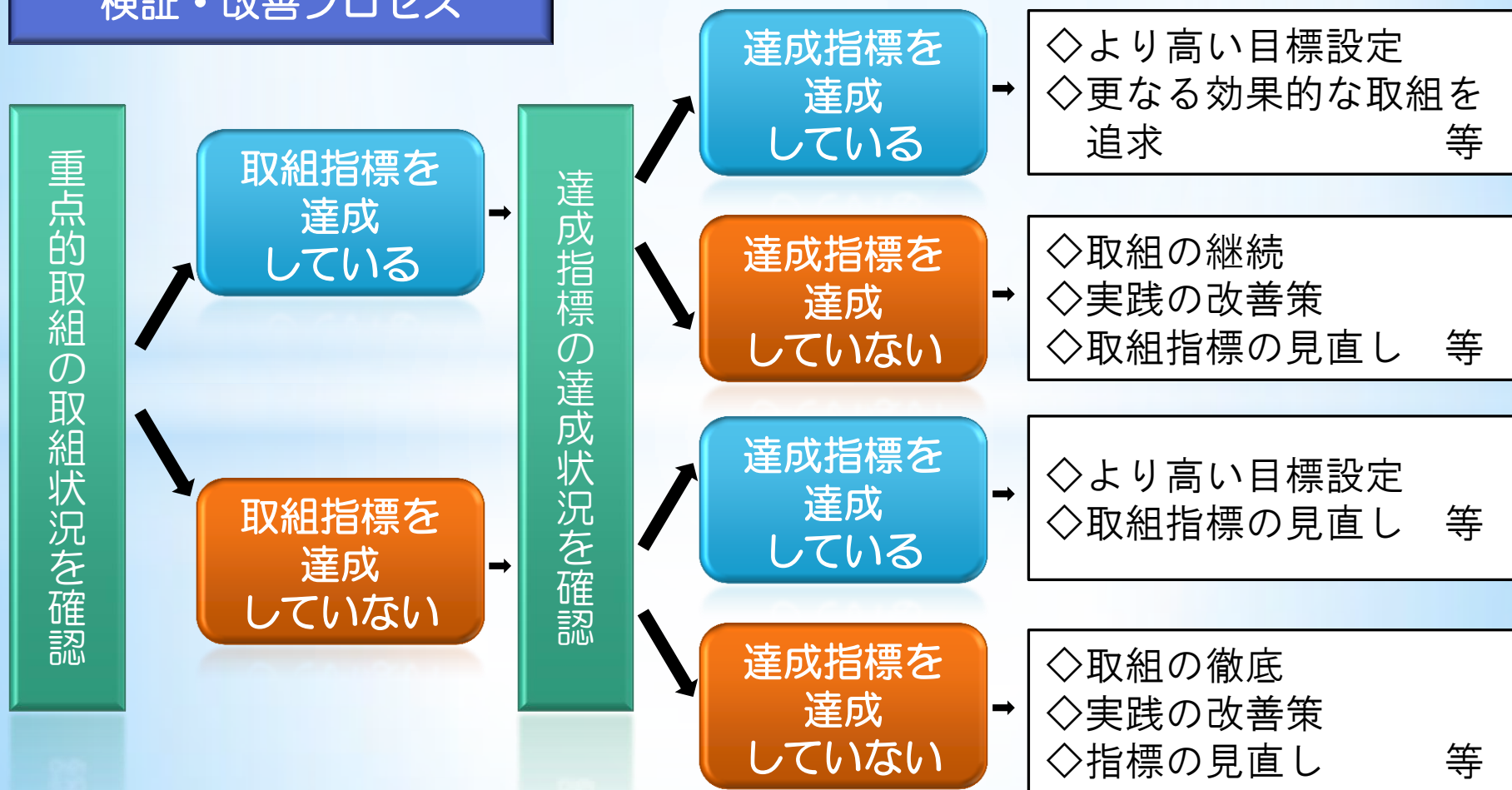


一度にあれもこれも実現することは現実的に困難であり、結果的に目標を設定していないのと同じことになってしまう

**システムの一部が変化すると
他の部分も連鎖的に変化していき
結果的にシステム全体が変わっていく**

観点Ⅱ 持続的・発展的な教育活動を実現するために

検証・改善プロセス



観点Ⅱ 持続的・発展的な教育活動を実現するために

取組
指標

- 取り組めたかどうか測定するためのもの

達成
指標

- うまくいっているかどうか測定するためのもの

検証・改善

学習指導要領解説 総則編

「教頭」と関連するキーワード

- 「学校の運営組織を生かし」
- 「改善を図っていくことが重要」
- 「（小中間で）共有し，改善を図る」
- 「開かれた学校経営の実現を目指す」
- 「学校全体が，共通理解の下に協力」
- 「授業の指導を行ったり参加したり」

知識の理解の質を高め資質・能力を育む
「主体的・対話的で深い学び」

「何ができるようになるか」を明確化（三つの柱）

①知識及び技能

②思考力,判断力,表現力

③学びに向かう力,人間性等

（例）中学校理科〈生命領域〉

- ① 生物の体のつくりと働き，生命の連続性などについて理解させるとともに，
- ② 観察，実験など科学的に探究する活動を通して，生物の多様性に気付くとともに規則性を見出したり表現したりする力を養い，
- ③ 科学的に探究しようとする態度や生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

我が国の教育実践の蓄積に基づく授業改善

我が国のこれまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善の活性化により、子供たちの知識の理解の質の向上を図り、これからの時代に求められる資質・能力を育んでいくことが重要。

小・中学校においては、これまでと全く異なる指導方法を導入しなければならないと浮き足立つ必要はなく、これまでの教育実践の蓄積を若手教員にもしっかりと引き継ぎつつ、授業を工夫・改善することが必要。

- ◇ 語彙を表現に生かす
- ◇ 社会について資料に基づき考える
- ◇ 日常生活の文脈で数学を活用する
- ◇ 観察・実験を通じて科学的に根拠をもって思考する

など

我が国の教育実践の蓄積に基づく授業改善

教育実践の蓄積

【研究授業・研究協議】

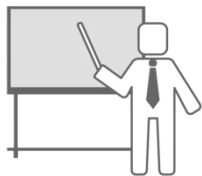
- ◇意欲を高める「めあて」
- ◇追求すべき事柄を明確にする「課題」
- ◇「生徒指導の3機能」を意識した問題解決的な展開



これまでの教育実践は研究授業でとどまり、日常の授業への反映は個々の教師にまかされていた

【日常の授業】

- ◇教師主導型・講義型授業
- ◇練習問題中心授業
- ◇「めあて」「課題」が位置付いていない授業
- ◇子供の発言や対話のない授業



「日常の授業」の充実



【研究授業・研究協議】

「新大分スタンダード」の視点



教育実践の蓄積

【日常の授業】

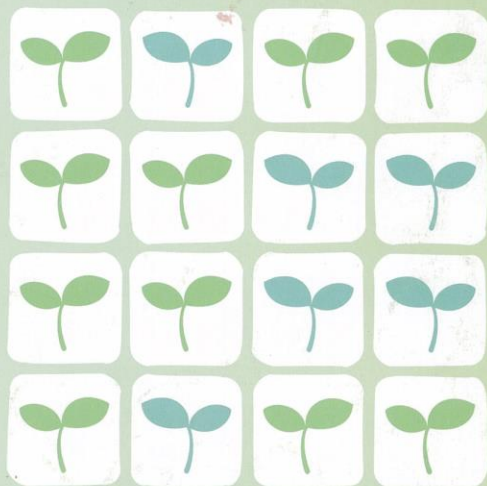
「新大分スタンダード」の視点



評価規準の作成，評価方法等の
工夫改善のための参考資料

【小学校 国語】

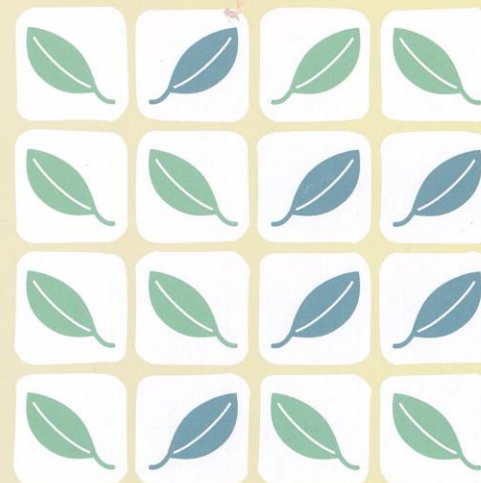
平成 23 年 11 月



評価規準の作成，評価方法等の
工夫改善のための参考資料

【中学校 数学】

平成 23 年 11 月



幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の
学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）

平成28年12月21日 中央教育審議会

「主体的・対話的で深い学び」とは何か

「主体的・対話的で深い学び」の実現とは、特定の指導方法のことでも、学校教育における教員の意図性を否定することでもない。
人間の生涯にわたって続く「学び」という営みの本質を捉えながら、
教員が教えることにしっかりと関わり、子供たちに求められる資質・
能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくことである。

1 「主体的な学び」

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

自分の学びの質と内容を
自覚できるようにすること

【主体的な学びの姿】

子供たちが「学んだことで成長できた」「もっと学んで成長しよう」としている姿

2 「対話的な学び」

子供同士の協働，教職員や地域の人との対話，先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ，**自己の考えを広げ深める**「対話的な学び」が実現できているか。

3 「深い学び」

習得・活用・探究という学びの過程の中で，各教科等の特質に応じた「**見方・考え方**」を働かせながら，知識を相互に関連付けてより深く理解したり，情報を精査して考えを形成したり，問題を見出して解決策を考えたり，思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。



「深い学び」の鍵

「見方・考え方」

3 「深い学び」

「見方・考え方」

各教科等の「見方・考え方」は、「**どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか**」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、**教科等の学習と社会をつなぐもの**であることから、児童生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることにこそ、**教師の専門性が発揮されること**が求められること

学校づくり

すべての教職員にマネジメントの力を

- ◇学校の目標と自己目標の連動
- ◇4点セットの検証・改善への参画 など

授業づくり

日常の授業の充実を

- ①「ねらい」の書き方
- ②「課題」の設定と「課題」の質
- ③「めあて・課題」と
「まとめ・振り返り」の呼応
- ④ 低学力層への「個別の支援」
- ⑤「生徒指導の3機能」を意識した授業

ご静聴ありがとうございました

【参考文献】

- ◇授業の見方「主体的・対話的で深い学び」の授業改善 澤井陽介 東洋館出版社
- ◇「アクティブ・ラーニング」を考える 教育課程研究会 東洋館出版社
- ◇藤原和博の「創造的」学校マネジメント講座 藤原和博 教育開発研究所
- ◇「学力」の経済学 中室牧子 ディスカヴァー・トゥエンティワン

- ◇セラピスト入門システムズアプローチへの招待 東豊 日本評論社
- ◇家族支援ハンドブック インサー・キム・バーグ 金剛出版